

I. 事業活動

1. 食文化の研究支援活動

(1) 第31回「食の文化フォーラム」の開催

①食文化を学際的に考える会員制の研究討論会「食の文化フォーラム」は本年で31年目を迎え下記のテーマにつき幅広く食文化を深耕した。

年間テーマ：「料理すること」－味わいの社会性

第1回 「料理の発見」 (2012年 6月 16日 開催)

第2回 「料理の技法」 (2012年 9月 29日 開催)

第3回 「料理のゆくえ」 (2013年 3月 2日 開催)

②2011年度に開催した食の文化フォーラム30「火と食」の成果を単行本として刊行した。

(2) 食の文化フォーラム30周年

食文化の研究として、異分野の研究者が年間テーマにつき論議、積み上げてきたフォーラムが30周年を迎えた。会員OB・OGへの感謝と現会員の交流も考慮し、フォーラムにも参加いただき、その後に懇親会を開催。同時にフォーラム30周年の小冊子を作成した。

開催日：2012年9月29日(土)

会場：グランドプリンスホテル新高輪

参加者：86名(フォーラム参加者90名)

(3) 公開施設「食の文化ライブラリー」の運営

①蔵書の充実

□新規登録点数2,199点：内貴重書74点

□期末蔵書点数41,513点：内貴重書2,268点

□新規登録映像点数2点(期末登録点数410点) □購入錦絵点数0点(期末登録点数137点)

②利便性向上

書誌データ再整備 7,672件を実施(累計13,610件)

③ホームページの活用

□錦絵 画像137点内解説付き54点 □貴重書リスト 9月25日に掲載開始。

□「石毛直道食文化アーカイブス」9月28日に公開開始。

④スペースの見直し

地下閉架書架360棚中36棚分(10%)を整理した。

地下倉庫スペース19.6㎡中1.3㎡(6.6%)を整理した。

⑤ルール確立

未返却本督促と請求、補充ルール。今後は、未返却半年を持って補充を行う。

蔵書除籍ルール。アドバイザーの意見もいただき決定。3,323冊を除籍した。

2. 食文化の普及啓発活動

(1) 食文化誌『vesta』

①以下の4巻を発行。

86号「世界を旅するスパゲティ」 責任編集 前川 健一氏 (2012年 4月発行)

87号「料理書を料理する」 責任編集 東四柳 祥子氏 (2012年 7月発行)

88号「世界の魚食文化」 責任編集 秋道 智彌氏 (2012年10月発行)

89号「“おいしい”って何？」 責任編集 高田 公理氏 (2013年 1月発行)

②石毛直道氏の連載「大食軒酩酊の食文化」をHPにて9月25日より公開開始。

(2) 公開講座

前半2回は「ユネスコ無形文化遺産」、後半2回はHP「石毛直道食文化アーカイブス」
企画展示「石毛直道 食文化を探検する」と連動した。合計226名が受講した。

- 第1回 7月28日 「無形文化遺産になったメキシコの伝統食：メキシコを知ろう」68名
- 第2回 9月 8日 「無形文化遺産になったトルコのケシケキ：トルコを知ろう」64名
- 第3回 12月15日 「石毛直道 麵の文化史」55名
- 第4回 2月2日 「石毛直道 ロスアンジェルスのレストラン」39名

(3) 食文化展示室

企画展示「石毛直道 食文化を探検する」を9月25日～3月21日まで実施した。石毛直道氏の、
貴重な写真や調査資料を活用して「石毛直道氏の活動と年譜」個別研究である「魚醤とナレズシ」「麵
の文化史」を中心に展示を行った。期間中の来展者数3,313人。

(4) 映像記録「日本の味・伝統食品」(DVD全4巻、別館1巻)頒布

販売実績 47巻 (前年38巻)

(5) 公開シンポジウムの開催

①「食の文化シンポジウム2012」の開催

基調講演は山極寿一氏を迎え「火と調理の起源」—火は人間をどう変えたか—につき講演
いただいた。パネルディスカッション後は会場から質問が多々あり関心の高さがうかがえた。

- テーマ : 「火と食」
- 開催日 : 2012年10月20日(土)
- 会場 : 味の素グループ高輪研修センター
- 参加総数 : 195名

②「和食の力：だし・うま味」(ユネスコ無形文化遺産化申請支援活動)

無形文化遺産を目指す日本の食文化とは何か、更にもっとその特徴のひとつである「だし・うま味」とは
何か、また震災復興を「食」を通じて支援する取組や、食育の現場での事例を通じて和食がもつ力
と、その継承の在り方について、熊倉功夫氏の基調講演やパネルディスカッションや試食を行った

- テーマ : 「和食の力：だし・うま味」—無形文化遺産を目指す“和食”・震災復興の現場にみるそのカー
- 開催日 : 2013年3月10日(日)
- 会場 : 品川グース
- 参加総数 : 190名
- その他 : 当日募金を実施。3月12日に32,186円を
特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォームに寄付した。

③他のシンポジウムへの協賛

- 主催 : 公益財団法人伝統文化活性化国民協会
- テーマ : 伊勢神宮遷宮記念シンポジウム「伊勢とその食文化」
- 開催日 : 2012年5月12日(土)
- 会場 : 有楽町・朝日ホール
- 参加総数 : 550名

II. ホームページ

(1) 9月25日に改訂版の公開開始。

①食文化に関する情報の発信と、データベースとしての機能を追加した。

- ・錦絵・貴重書等の画像リスト・「大食軒酩酊の食文化」「石毛直道食文化アーカイブス」などの
新規公開を開始。

②見易さと操作性の向上を目的にデザインを変更した。

Ⅲ. 財団運営

(1) 公益財団法人への移行を実施した。

- ・ 内閣府に申請 2012年6月
- ・ 移行認可内示 8月
- ・ 登記 2013年4月1日

(2) 基本財産運用 4月に債券買換えを実施。

- | | | |
|--|-------|-------|
| ○第19回三菱東京UFJ銀行期限前償還条項付社債（劣後特約付） | 3億円償還 | 4月25日 |
| ●政府保証債第34回地方公共団体金融機構債券10年債 | 1億円購入 | 4月26日 |
| ●ユーロ円建固定利付債（発行体）BPCE（ビーピーシーイー）10年債 | 1億円購入 | 5月8日 |
| ●ユーロ円建固定利付債（発行体）BNP PARIBAS（ビーエヌピーパリバ）10年債 | 1億円購入 | 5月18日 |

以上